

俺の名はタケシ
かつて魔王を倒した勇者の血を引く男
将来は俺も冒険の旅に出るべく修行中の身だ

おはよう

おはようタケシ

この娘は幼馴染のエイミー
男勝りの性格で腕っぷしも強く
将来は剣士になると息巻いている
俺としては危ないから村で大人しく
していてほしいんだけど……





!

この人は俺のじいちゃん
元勇者で魔王を倒した
俺の自慢のじいちゃんだ

やあ、エイミーちゃん
おはよう
相変わらずいい体しとるね

あつ、エイミーがじいちゃんを殴った……

ドッ

ビーン

サッ



ふふふ、相変わらず
エイミーちゃんは容赦ないなー

エイミー老人に暴力ふるうなよ
可愛いそうだろ

タケシは甘いのよ
いつもお尻ばかり触ってきて……

それはポケてるからだよ
ポケ老人だから大目に見てやれよ
クソポケ老人だからしょうがないんだよ

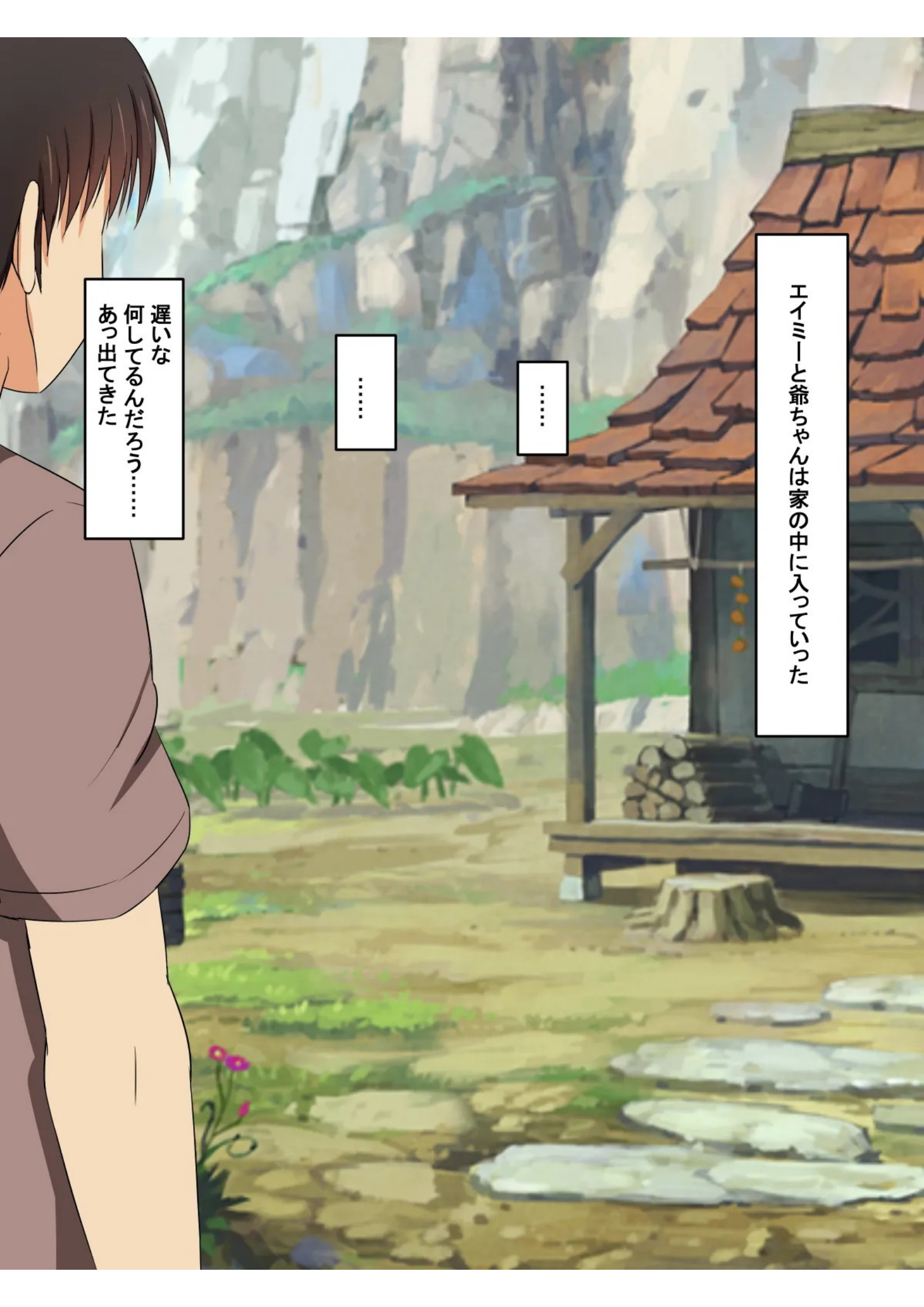
タケシわしは
ポケとらんぞ



そうだ、エイミーちゃんに
渡したいものがあるんじゃないよ

かつて魔王との戦いにおいてはあさんが着ておった
伝説の鎧だ
エイミーちゃんが引き継いでくれるなら本望だろう

そんな大切なもの本当に……



エイミーと爺ちゃんは家の中に入っていた

.....

.....

遅いな
何してるんだろう……
あっ出てきた

ど、どうかな

えっ、ばあちゃんこれ着てたの
本当に

はぁ
はぁ。

ああ、そうだと
も由緒正しき伝説の防具じゃよ

破廉恥すぎるだろう

似合ってるよ……

そ、そう
よかった

エイミーっていい体してるんだな



おじいさんありがとう

なになに
エイミーちゃんは孫みたいなものだから
ホホホホ

あれ、エイミーの態度が……
仲良くなったのかな

サワッ

今日はじいちゃんの命令で
エイミーを呼びに来た

おはようエイミー

おはよう
タケシ
どうしたの

おっぱいがあふれ出そうだ
この前の鎧姿を見て以来
どうもエイミーを意識してしまう



なに？じっと私のこと見て

そう……

えっ
あ、いや何でもないよ

あつ、そうだ、じいちゃんが
修行してやるからこいつて
じいちゃん俺にもなかなか稽古つけてくれないんだぜ
羨ましい

……うん、わかった……



いらつしやいエイミーちゃん

くっ
またこのじいいは
やっぱり修行なんて

おやおや、この前はあるなに
しおらしかったのに

あつ、あれはちょっと
びっくりして

エイミーじいちゃんの修行受けられるなんて
凄いことなんだぞ

……うん

ほほほ、じゃあ道場に行こうか

あつ、タケシは覗いちやだめだからね
秘密の修行だから





じいちゃんとエイミーは行ってしまった

エイミー羨ましいな
おれも修行してほしいな

.....
ひまだな

ちよつとのぞくか

道場は日の当たらない場所にあつて
正直子供のところは怖かった

中も日が当たらずに
薄暗いんだよなあ

タ、タケシ
ど、どうしたの

エイミーちゃんが
小声で話しかけてくる

な、何でもないです

じいちゃんと話してるのかな？

だ、だめ、見つかったら
怒られちゃうよ
それ以上近づいたら
バシちゃう

暇だから
ちよつと覗こうかなって

うーんここからじゃ
あんまり見えないな

んくっ

んんん
あれは
ち、乳首
エイミーの乳首見えちゃってるじゃん
ラッキー

一体何の修行してるんだろう

何だか苦しそうだ

んぐ





ん

んお

エイミー





ん、

エイミー

ん、

だ、大丈夫だから

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ



あ、ん、

ふか

h

ト



11

天

ト

なんだろうエイミーちゃん見てるとすぐく
エッチな気持ちになってくる……
これ修行なんだよな……

邪魔しちゃ悪いし
今日はここで退散するか……

最近はいみーと二人で修行してる
じいちゃんが教えた技を覚えてくれるので
とてもありがたい

今日は「」までにしめよう

うん
ありがとう

はあ

はあ



ふう疲れた

ドサッ

しかし、この格好やっぱり破廉恥だよな
エイミーがさつだから目のやり場に困る
あそこなんて見えそう

気にしないで
好きでやってるだけだから

最近朝はじいちゃんと修行してるんだろ
悪いなこっちにも付き合わせて

もも

正一

どうしたの

え、あつ、いや

タケシあたしのこと見てる……
私の体に興味あるのかな

くっ

くっ

正一





タケシ凄い見てくるよ……

あ、あれは、具があふれてる……

ん、その落書きはなに

あ、えっとこれは
そのおじいさんに
修行されるたびにその
描かれるの……
消そうとしても消えなくて……

そうなんだ

あんなことしてるって
タケシに知られたら……

あれ、なんか垂れてるな……





さあ、おいで
朝のお散歩だよ

くっ

私は何度もおじいさんに犯されて
もう言いなりです……
こんな恥ずかしい恰好で外に連れ出されても
逆らえません……



おや、勇者のおじいさん
お散歩ですか

ええ

お願い気付かないで……

ピンッ



なにを恥ずかしがっておる

恥ずかしいに決まってるでしょ
もしばれたら……

エイミーちゃんはわしのペットなんだから
裸でも恥ずかしくないよ

くっ



だめええ
見られちゃうっつうっつう

ド
ド

よお、勇者のじいさん

なんだ、武器屋のじいさん
朝は弱いんじゃないのか

たまには早起きしようかなって

おや、新しいペットかい？

ああ

東の通りに住んでる
エミリーちゃんだね

エミリーちゃん
お返事して

は、はい

うらやましいね、
また新しい娘ペットにするなんて

ふふふふ
なかなか躰も大変だったよ
反抗的で

エミリーちゃん躰けられたの？

見られてる
裸みられちゃってるよおお

はい、おじいさんにいっぱい躰けてもらいました……

気が付けばおじいさんの知り合いたちに
囲まれていました

ええなあ勇者のじいさん

エイミーちゃん
わしも狙ってたのに

おっぱい大きいね

……ありがとう
ございます

羨ましい

まあ、そのうち
少しぐらいなら
ねえ

ふふふふ
エイミーちゃんはわしのもんだから
勝手に触ったらダメだよ

うう、私これからどうなっちゃうの……



タケシの家

エイミーどうして家に
それにその恰好……

えっとね、今日からこの家で
住み込みでメイドとして働くことになったの
おじいさんがそうしろって

メイド……

うん、メイドってこういう恰好するんだって……

メイドの存在は知ってたけど、こんな恰好するのか……

タケシ、今日からエイミーちゃんには
わしの身の回りの世話をしてもらおうから
じいちゃんもう年だし

エイミーはそれでいいの？

うんお世話になってるし

エイミーがいいなら別に……

一緒に住んでるからってエイミーちゃんに変なことしちゃだめだよ



慣れない家事に
エイミーちゃんは
悪戦苦闘していた

エイミーがお皿を割ってしまった

大丈夫エイミー
ケガしてない

うん、大丈夫
ごめんなさいお皿割っちゃった……

いいよ、どうせ安ものだろうし

あっ

ガ
タ
ッ



いけないな〜エイミーちゃん
それは王様からもらった
大事な皿なんだよ

……

しょうがないだろ
エイミーまだ慣れてないんだし

タケシ
甘やかしちゃいかんよ
仕事はきちんとこなさないと

エイミーちゃんお仕置きするから
お尻こっち向けて

……はい

エイミー……

しかしメイド衣装破廉恥すぎるだろ

プンッ





次からは失敗しないようにね

は、はい

エイミー……

なんだろう
エイミーがお仕置きされてる姿
すごくエッチだ……



んあ!

なんだこの声

昼間のエイミーのお仕置き姿が目には焼き付いて
何だか寝付けなかったのでトイレに行った

あ

じいちゃんの部屋だよな「」……
少し覗いてみるか……

あ

あ

あ



おっ

俺は逃げるようにこの場から立ち去った……



エイミー
一体……

居間

さっきのは一体……エイミー
エッチな声だしてたよな……

俺はしばらく考えがまとまらず
居間でぼーっとしていた

あつ、タケシ
起きてたの

うん……
エイミーこそ

……少しおじいさんに修行してもらったの

そ、そうなんだ

汗かいたから……お風呂
はいるのかなって



!

エイミーちゃんが
裸に……

ねえ、いっしょに
お風呂はいるうか
昔みたいに

……うん

ブルッ



子供の時以来だね
タケシと一緒に風呂入るの

う、うん
そうだね

いつの間にか
一緒にはいらなくなったよね

なんとなく俺が気恥ずかしくなって
一緒にはいるのやめたんだよね……



湯気が少なくなったな……
エイミーの体ほんとに
エッチだな……
こんな娘がすぐそばにいたなんて……

タケシが
私の体見てる……

ねえ、タケシは最近私のことよく見てるけど
私の体に興味あるの？

……うん
ごめんねじろじろ見て……

ううん、いいの
嬉しい





タケシなら別に
みられてもいいから……

はぁ
はぁ

エイミー……

正正
正正

正正
正正

奥まで見せてあげる……

うおおおおお
エイミーのおまんこ……
こ、これは
誘われているのか……

あつ、
触るのはだめだよ

うっ

グイッ

正正正
正正正

正正正
正正正

グパッ



しゅ、修行の回数増えたんだね……

う、うん
毎日、修行してるから……

……どんな修行してるの……

えっとね……その……
色々だよ
あんまり詳しく説明しちゃだめって
いわれてるから……

ふ、ふーん

さっき見たのは……
これ以上効く勇気が湧いてこなかった……

正正正正

正正正正



あつタケシ君

ミホちゃん

ミホちゃんは幼馴染で
村で見習いの錬金術師をやっている
とっても優しい女の子でエイミーとも仲がいい

どうしたの何か心配事でもあるの？

どうやら浮かない顔をしていたらしい



えっとね……

僕はエイミーのことを話した

きつと、なにかの勘違いだよ
おじいさん立派な人だし大丈夫だよ

そうかな……

うん……

じゃあ、私がエイミーから何をしていたか
聞き出してあげる

エイミーとミホは
本当に仲がいいからな……



タケシはやっぱり
エイミーのこと好きなのかな……

だめだめ友人として
ちゃんと二人を祝福してあげないと……

ん？エイミーの声……
ここがエイミーが使ってる部屋かしら
けど、これ……

んあ

ん

あ



！
エ、エイミー……
それにおじいさん……

まさか本当に……



ど、どうしよう
二人がそんな関係だったなんて

エイミーはタケシのことが好きだったはず
なのに

無理やりされてるのかしら……

あ♡

えら

パ♡

パ♡

あん♡

んが♡

パ♡



エイミーちゃん凄い気持ちよさそう……
これって……

セックスって初めて見たけれど……

こんなの見ちゃったら……

あん。

お、

んあッ

パン

パン

パン



んぐ

うう、私ったら……

ミホはむつつりドスケベだった

んぐ

んぐ

ミホ
どうだった？

！
タケシ君

えっ、あの
ちよつと今いないみたいだから……
またあとで……

そっか



良かった
行ってみた……

ミホちゃん中に入ってきたさい

ううっ
おじいさんにばれてる……



ミホちゃん……

あの、私もきょうからニで
住み込みでメイドとして働くことになったの
よろしくね

ミホちゃんまで……
二人もメイドなんて多すぎるし
やっぱりいいちゃんちよとおかしいよ……



たけし
おじいさんのこと
悪く言うのよくないわよ

えっ

おじいさんは立派な人なんだから

う、うん……

最近エイミーは
じいちゃんの肩を持つようになった……



やっぱりそういわれても
これはおかしい

なにがおこってるのか
調べないと
取り返しのつかないこと
になる予感がする……

夜

ここが二人の部屋だ
少し覗いてみよう

この格好は……

よく似合ってるよ二人とも

！
じいちゃんもいるのか

じゃあ全部脱いで



幼馴染二人の
裸……
やばい勃起してしまう……

ふたりともこっちに来なさい

はい……



さあ、今日は
おじいちゃん二人同時に
相手しちゃうぞ

はい

そんな、二人はもう……

はっ

はっ



おはようタケシ

おはよう
タケシ君

お、おはよう

朝からこんな恰好の
幼馴染にかこまれて
ドキドキしてしまう……



ふたりともおっぱい大きいな……

少しミホちゃんの方が大きいのかな……



どうしたの
おっぱいばかり見て

タケシ君
いやらしい〜

えっ
いや

あつ、けど
おさわりはダメだよ
おじいさんにおこられちゃうから

うっ



どうしたの

そうだった
ふたりはもう……

いや別に……

数日後

ど、どうしたの
今日は一段と……

おじいさんが
こうしろって

お客様が来るらしくって

そ、そんな恰好で





何をしようとしてるんだ……
これはこっそり見張らないと

ごめんね

私たちは準備があるから

大広間

はいっちゃんいけないうって言われてるけど……

覗いてみよう……

！
ミホちゃん

ミホちゃんが
こんなえつちな娘だったなんてなあ

「めんなさい

あれは確か
武器屋のじいさん

んっ

いっっ

んっっっ



ええ
ええお尻じゃのお

ググッ

くっ
あのくっく……

さ、さめくっめ

んん



んくっ……

ミホちゃんも
エッチな気分になってきたのかな……

ち、違います

はぁ

はぁ

んっ..

おいあんまりいじめてやるなよ

今日はエイミーちゃんが
メインなんだから

他にも数人いるようだ

みんな準備ができたぞ

じいちゃんの声だ
準備？



エイミーちゃん
ケーキだよ

エ、エイミー……



今日もエイミーはじいさんに
エッチなことをされていた……

んんん

パン

おん

パッ

んん

パン





このままじゃだめだ
どうにかしないと……

いったいどうしたら……



どうしたの

ミホちゃん
えっと……その……

あっ
また覗いていたでしょ

バレてる……



だつてここ
こんなに
いきり立ってるから

ミホちゃん！

お
ロ
ッ

今樂にしてあげるね

ミホちゃん
こんなこと……

私は元々こんな
女の子なんだよ

やろ やろ やろ





んく

てびる
てびる



……私はもともとこんなんだけど
エイミーはちよつと勘違いしてるだけだから
たけしの気持ちを伝えてあげれば
大丈夫だと思うよ

ミホちゃん……

後は私が片付けておくね……

うん……



その日の夜

おん、

んが。

トッ。

トッ。

んがっ

あっ

ミホちゃんの声だ……

バレないように
あの穴から覗いてみよう

んあ！

んああつ……ん
ごめんなさい

んあ！

んあ！

ミホちゃん！





エイミーちゃん
剣の持ち方はね……

はい……

おじいさんに
修行にかこつけて
エッチなことされるのは
もう当たり前の日常に
なっていました……

サワ
サワッ

エイミーちゃん
体にはいいってるよ
もっとリラックスして

んあつ……ん
は、はい

これも修行だからね

私が抵抗しないってわかってるから
おじいさんは好き放題……

んぐ

んぐ

んぐ

んぐ

んぐ



おじいさんにえっちなこと
されてるの知られちゃってる……

あつ
タケシがまた覗きに来てる……

暑いから
ちよつと脱ぐうか

は、はい……

……今から私
タケシの目の前でされちゃうんだ

はぁ
はよ。

ポリッ





フフフ
今日は一段といい反応だね



今日はエイミーが
一人で稽古していた

ふうっ
疲れた

お疲れ

二人きりになるのは
久しぶりだな

ドヤッ



どうしよう
なんか緊張してしまう

以前は二人きりでも
なんともなかったのに……

エイミーの体本当に
エッチだな……

どうしたの？

えっ、あつ、いや





私の体
気になる？

う、うん

別に言ってくれれば
いくらでも見せてあげるのに

おん

じいちゃんのエイミーに対する調教は
日に日に激しさを増していった



家にはなぜか地下牢があるのだが
昨日からエイミーはここに閉じ込められていた

おん

エイミーはあの姿勢で
ずっと責められ続けている

ん

んあ、

ん

ん

なにかいいちゃんに
怒られることをしたらしい

ん

グイ



じいちゃんはいないようだ

エイミー大丈夫？

んああっ……ん
タケシ……んんくっ
見ないでえ

ん。

ごめんね
けど心配だから
いったいなにしたの

んああつ……ん
タケシと……んんんつ……
セックスしたいって言ったのお

エイミー……

んあ。

んああつ……ん
昨日から何度も
イカされて
んくつ……
おかしくなっちゃうよお

んあ。

んあ。

んあ。



エイミー
がんばって

んあああんっ
だめええ
またいいちゃうよ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ



やだあ
タケシに
見られてるのに……

エイミーのためにも
じいちゃんをなんとかしないと

じいちゃんと正面から戦っても
勝ち目はない
なにか弱点はないか
ミホちゃんにも協力してもらって
探ることにした

おじいさんってこの世で
一番強いんですね

フフフフ
まあね

いままで一番
苦戦したのって
どんな相手ですか

どうしてそんなこと聞くんかい

いえ、そのなんとなく
おじいさんのこと
いろいろ知りたいなって…



フフフ
ミホちゃんは
わしにゾッコンなんだね

……はい

一番苦戦したのは
やっぱり魔王だね
へんな技使うし
けど最後は股間の
エクスカリバーで
一発昇天させて
封印したったわ

え、魔王って女の人なんですか

女なのかなあ
まあ、穴があったしね



あんまり参考にならなかったな……

じゃあ、舐めて

はい

ミホちゃんが
おちんちん舐めてる……
僕は手でしかしてもらえなかったのに……

タケシが見てる前で私……



さあ、啜えなさい

はい……

ああ、ミホちゃん……

けろ

けろ



じいちゃんを倒す
ヒントを探して
家じゅう隈なく探索したが
めぼしいものは
なかなか見つからなかった

この一番奥にある
地下牢
使われてないと思うんだけど
何だか心配がする……
ちよつと開けてみよう

ガーンガーン



よく来たな
人間

余は世界を統べる
大魔王

さあ、
封印を
解いて余を
ここから
だすのじゃ

ガタッ

なんかやばいのがいた
見なかったことにしよう

ちょっと締めないで

ねえ行かないで

ごめんなさい
なんでもするから
助けてください

けど、魔王なんでしょ

……
違います

……
嘘です魔王です……
もう悪いことしないから
助けてください

じいちゃんが閉じ込めてたのかな
魔力もあんまり感じないし
なんだかわいそうだけど
どうやって封印解くかわからないし……

とりあえず
適当にその辺りをいじっていると……

これ、嫌あ
ちくちくするのぉ

なんだこれ

ウゝ
ー
ッ





んぐ

んあ、

んぐ

んあああんっ
クリがこすれて
んんくっ……

んあああんっ
とめてえ

んぐ

んぐ

ごめんね
止め方わからなくて

んぐ

んあ

グ
グ
グ
グ
グ

グ
グ
グ
グ
グ





んああつ……ん
いった……いったからあ
とめてよお

うーん
どうすれば

あんら

グズッ

んっ
♡

んっ
んっ
んっ
んっ
んっ



んあッ

ウーン

ウーン

カオッ

またなんか出てきた

ウッ
ウッ
ウッ



んああっ……ん
お乳が
でちゃう

そのあと試行錯誤して
何とか解放した

ビクビクッ

ん♡

んあ♡

ビクビク

ビクビク

ん♡

ググググ

ん

ん